

いのちにかかわる単元のカリキュラム

5年生

知識	◆
心情・理解	★
判断・実践	▲

1 単元名 「命のバトンを受けついで」

2 単元のねらい

- 胎児やメダカの成長の様子を調べることを通して、人や生命の連続性について理解し、いのちのすばらしさに気づく。
- 保育園児との交流を通して、年下の子に対する愛おしさを感じたり、役立つ自分を感じたりして、やさしい接しようとする気持ちを持つ。
- ホスピスについての話を聞くことを通して、受け継がれてきたかけがえのないいのちの尊さを感じ、大切にしていこうと気持ちをもつ。

3 単元構成

	総合的な学習・国語・理科	道徳	性教育・保健・特別活動
一学期	<p>理科</p> <p>「生命のつながり」 ＜誕生のふしぎ＞</p> <p>◆★人の誕生 胎児の成長の様子を調べることを通して、人の誕生や生命の連続性について理解できるようにする。</p> <p>◆★メダカの誕生 メダカの卵はどのようにふ化するのだろうかの疑問を明確にしてメダカの卵の成長、変化を調べる。自分が育てた卵からメダカがかえるときを電子顕微鏡で観察することを通して、いのちのすばらしさに気づく。</p>	<p>★「いのちのバトン」 3－(2)</p> <p>資料名 「自分の番」 出典 あけぼの高学年 自分のいのちは自分だけのものではなく、過去無量のいのちのバトンを受け継いで、今ここに自分の番を生きているということを理解する。</p>	<p>保健</p> <p>◆▲「けがの防止」 けがや交通事故を防止するためにはどんなことに留意したり、けがをしたときの簡単な手当ができる力をつける</p> <p>特別活動</p> <p>★▲「心のノート」 (かけがえのないいのち) P72, 73</p> <p>生命をいとおしむ 今生きているわたしを感じよう あたえられたいのち 支えられてきたいのちを これからももっともっと輝かせて生きたい</p>
二学期	<p>総合</p> <p>★▲「保育園との交流」 ○ 保育園児との交流を通して園児に対する愛おしさを感じるとともに、自分よりも年下の子とのコミュニケーションのとり方、かかわり方を体験する。</p>	<p>★「愛のリレー」3－(2)</p> <p>資料名 「死の船を救った愛のリレー」 出典 ゆたかな心 (光文書院)</p> <p>ハム仲間が無線で交信しながら、危機に陥った船員の命を救うため、国境を越えた協力をする姿からいのちを救うために行動した人々に勇気を学ぶ</p>	<p>性教育・保健</p> <p>◆★「成長するからだ」 自分も命のバトンを受け渡す準備が始まることを意識して、二次性徴について理解を深める</p> <p>「心の健康」</p> <p>★小さいころと比較して、自分の心がどのようにかわってきたのかを考える</p>

二学期

三学期

総合

- ◆★「ホスピス大道先生の講演を聞こう」
- 死とは。そして、豊かに生きるとはどういうことなのか

国語

- 「大造じいさんとガン」
- 大造じいさんとガンの頭領「残雪」との間に繰り広げられる生存をかけた激しい闘い(知恵比べ)と好敵手「残雪」に対し大造じいさんが素直に感動していく心の動きや人間味あふれる姿美しいもの、すばらしいものに感動する心を捉える力をつける。また、人や動植物の命の大切さについても考えたり、感じ取る力をつける。

★「ホスピスから学んだこと」
3-(2)

資料名
「なぜ、わたしたちはうまれてきたのかな」

出典
みんなで考える道徳
(日本標準)
ホスピスで働いた経験のある作者の話から豊かな命を生きる意味について考える。

★♣ 心とからだは互いに深く影響しあっている事がわかり、不安や悩みに対して、自分にあった方法で対処できることがわかる。

♣ 自分を肯定的にとらえ、さまざまな人と折り合いをつけて、心をコントロールしたり、コミュニケーションの方法を工夫して、人と可かわっていくことを知る

特別活動

♣ 「心のノート(自分をみつけ、みがきをかけよう)」

P30~P33

自分のよさを見つけ、それを一層伸ばす。また、自分の気になっているところの見方を変えたり、それを改善する方法を探したりする方法を見つける。

性教育

♣ 「からだや心を守る」
日常のなかの多くの性情報から正しい情報を選択、対処できる判断力を培う